

令和元年台風第15号及び19号 による港湾の被害状況

令和元年 11月19日
港湾局

令和元年台風第15号

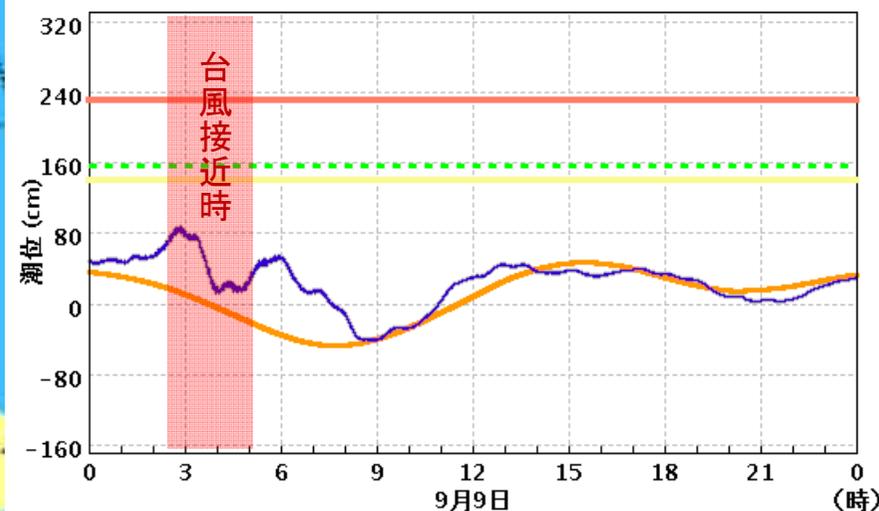
令和元年台風第15号の概要

- ◆ 台風の接近・通過に伴い、伊豆諸島や関東地方南部を中心に 猛烈な風、猛烈な雨となった。
- ◆ 特に、千葉市で最大風速35.9m、最大瞬間風速57.5mを観測するなど、多くの地点で観測史上1位の最大風速や最大瞬間風速を観測する記録的な暴風となった。



○台風15号データ
(9月9日4時 横浜市付近を通過時)

- ・中心気圧: 960hPa
- ・最大瞬間風速: 41.8m/s (=150km/h)
- ・1時間降水量: 66.0mm
- ・高潮(最大潮位): 80cm

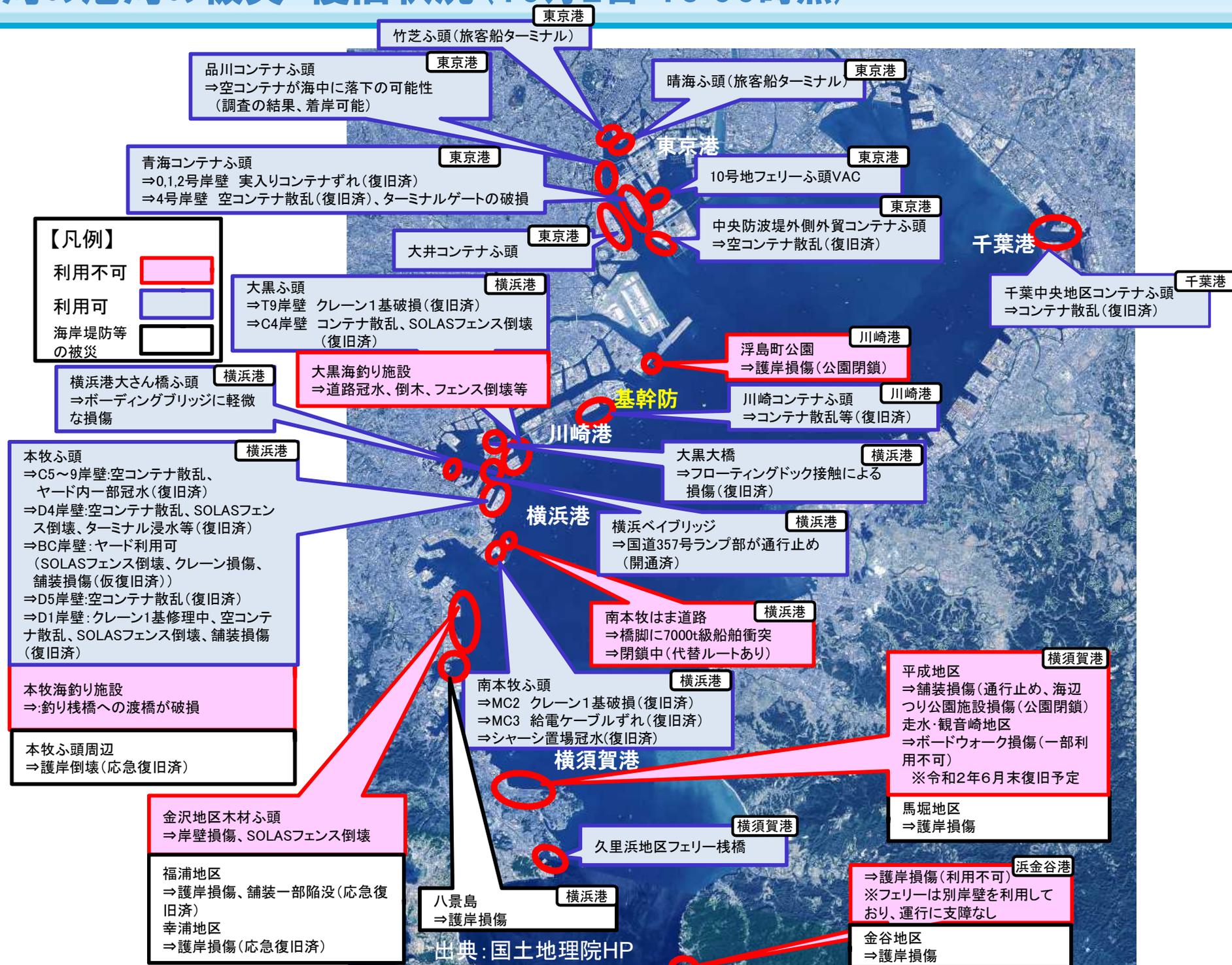


All rights reserved. Copyright © Japan Meteorological Agency

実際の潮位 — 高潮注意基準 —
 天文潮位 — 高潮警報基準 —
 過去最高潮位(156cm:2017年10月23日06時43分:台風第21号) - - -

出典: お天気.com 過去の台風・経路図
 (https://www.otenki.com/index.php?mmsid=bbtenki&actype=page&page_id=0001_pastyphoon)
 気象庁潮位観測情報
 (<http://www.jma.go.jp/jp/choi/graph.html?areaCode=&pointCode=124607&index=4>)

東京湾の港湾の被災・復旧状況 (10月2日 15:00時点)

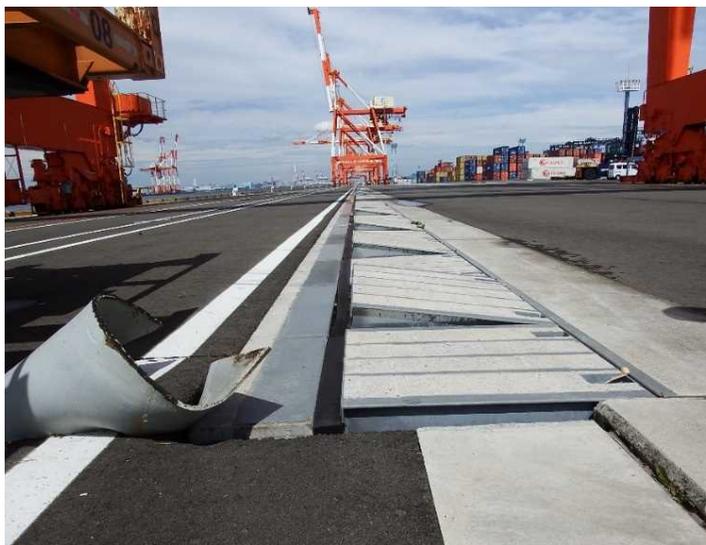


本牧ふ頭D1バース、D4バース

- ◆ 本牧ふ頭D1バース、D4バースでは暴風等により空コンテナやフェンスが倒壊する被害が発生。
- ◆ 本牧D1バースでは下部からの波力で、棧橋とエプロンを接続する渡版がはずれる被害が発生。



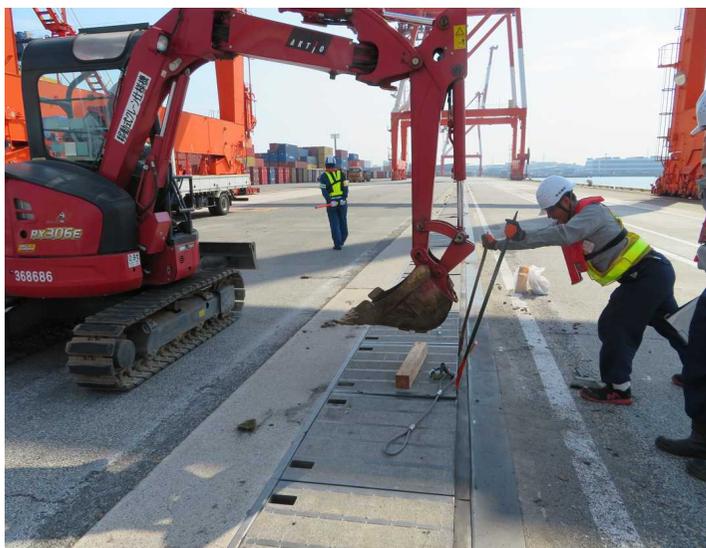
D1 空コンテナ、SOLASフェンス倒壊



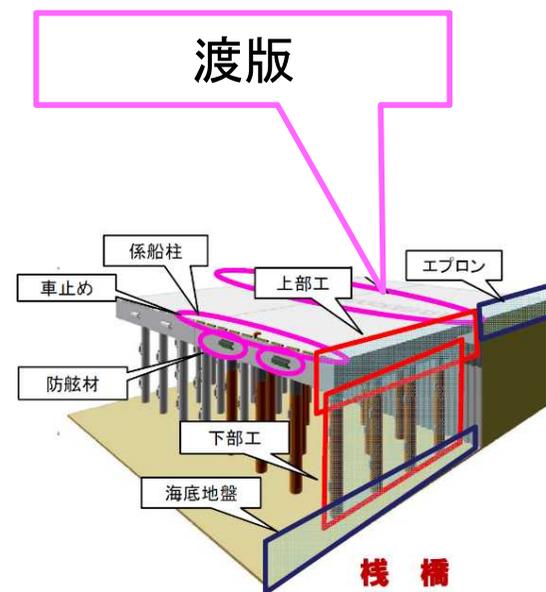
D1 渡版はずれ



D4コンテナ倒壊



D1 渡版はずれ復旧状況(9月10日)



南本牧はま道路

◆ 南本牧はま道路は、平成29年3月4日に供用を開始した、南本牧コンテナターミナルと首都高湾岸線を直結する臨港道路だが、走錨した船舶が衝突し、現在通行止。



衝突した船舶



金沢区(福浦地区) 被災状況

◆ 金沢区福浦地区は横浜市が造成した工業団地だが、護岸約600mが倒壊し、隣接する幸浦地区も含めて、国道357号の東側3.92km²のエリアが浸水。被害事業者数は483事業所(9月24日時点)。



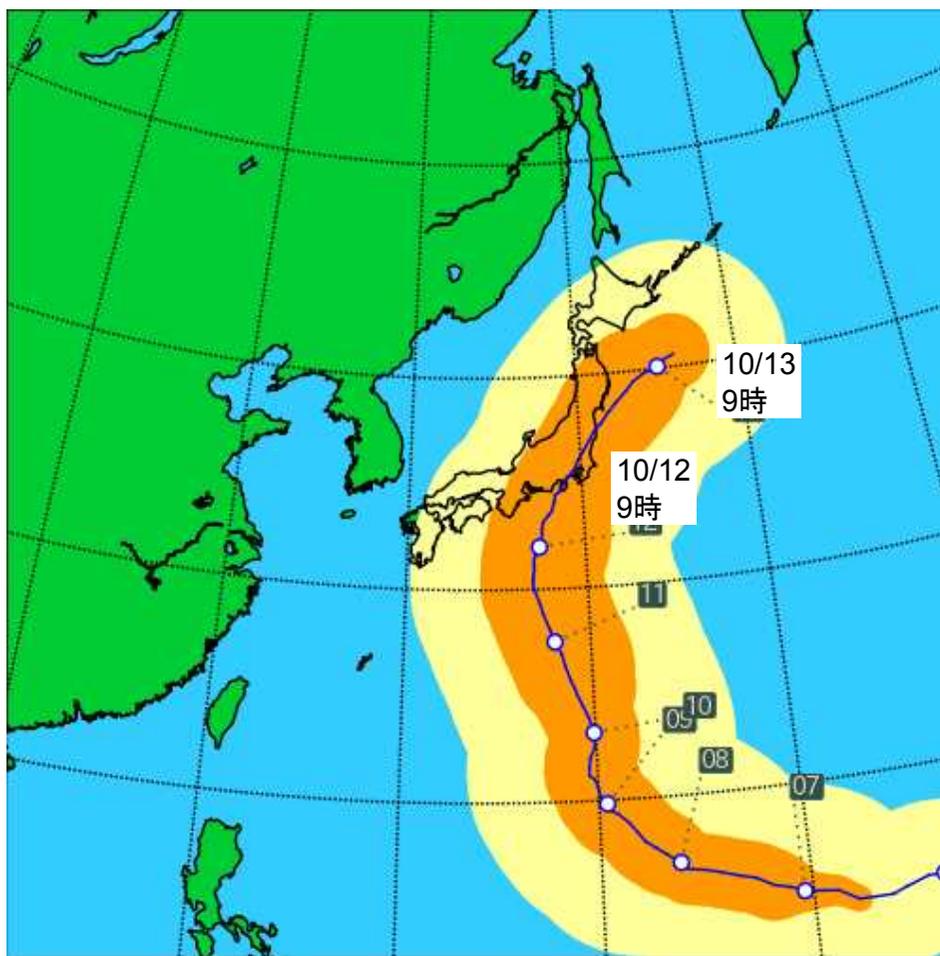
9月18日時点で、土のう1,546袋を設置し応急復旧完了



令和元年台風第19号

令和元年台風第19号の概要

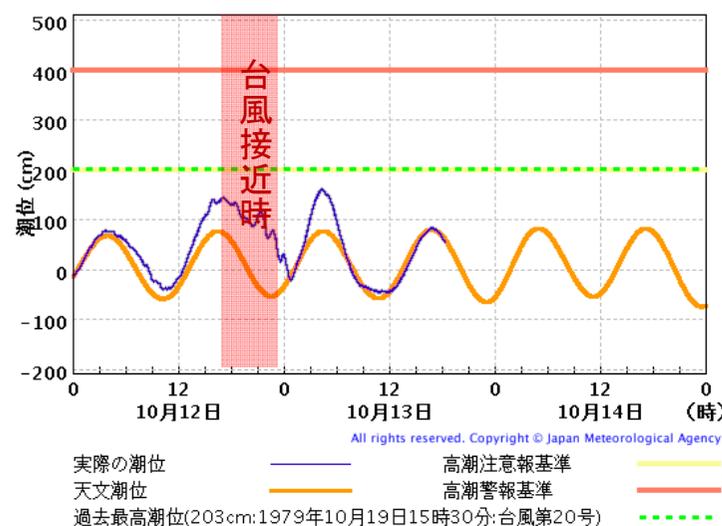
- ◆ 台風の接近・通過に伴い、東日本の広範囲において 猛烈な風、猛烈な雨となった。
- ◆ 神奈川県足柄下群箱根町では945.2mmの観測史上1位の24時間降水量を観測。また、横浜市では、これまでの10月1位の値を更新する最大瞬間風速43.8メートルを観測するなど、多くの地点で記録的な降水量や最大瞬間風速等を観測した台風となった。



○台風19号データ

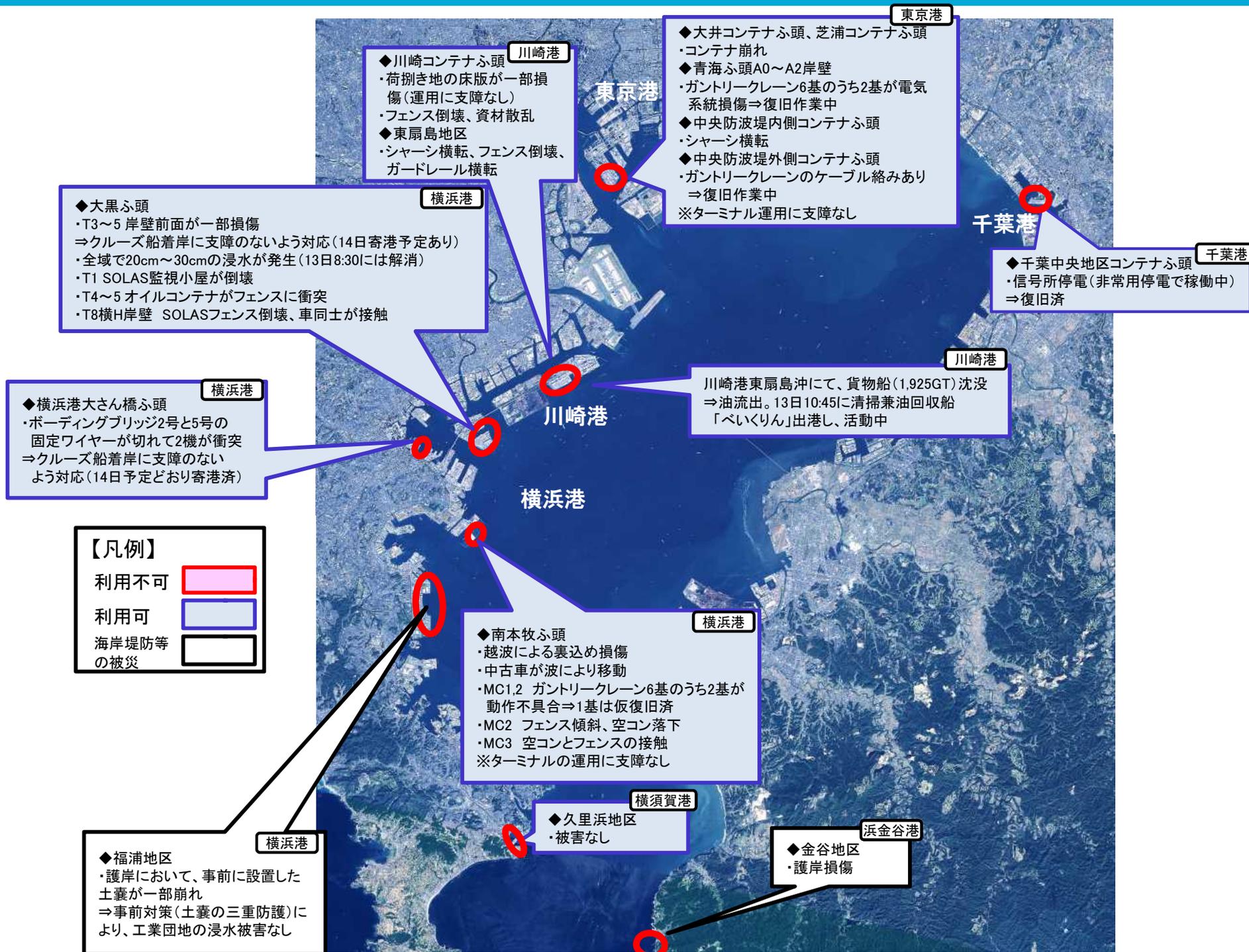
- ・中心気圧: 960hPa (10月12日21時 横浜付近通過時)
- ・最大風速: 43.8m/s (=158km/h)
(10月12日20時30分 横浜市)
- ・24時間降水量: 945.2mm (箱根町)

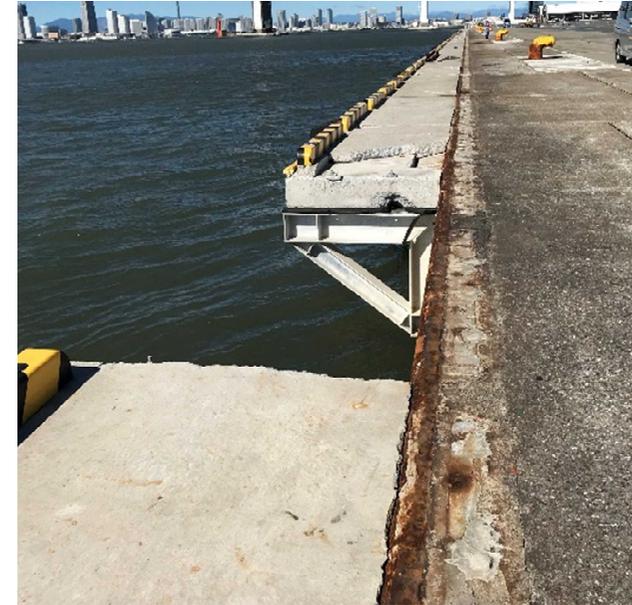
【潮位(横浜)】



出典: お天気.com 過去の台風・経路図
https://www.otenki.com/index.php?mmsid=bbtenki&actype=page&page_id=0001_pastyphoon
 気象庁潮位観測情報
<http://www.jma.go.jp/jp/choi/graph.html?areaCode=&pointCode=124607&index=4>

東京湾の港湾の主な被災箇所 (10月14日12:00時点)





T-5岸壁一部損傷



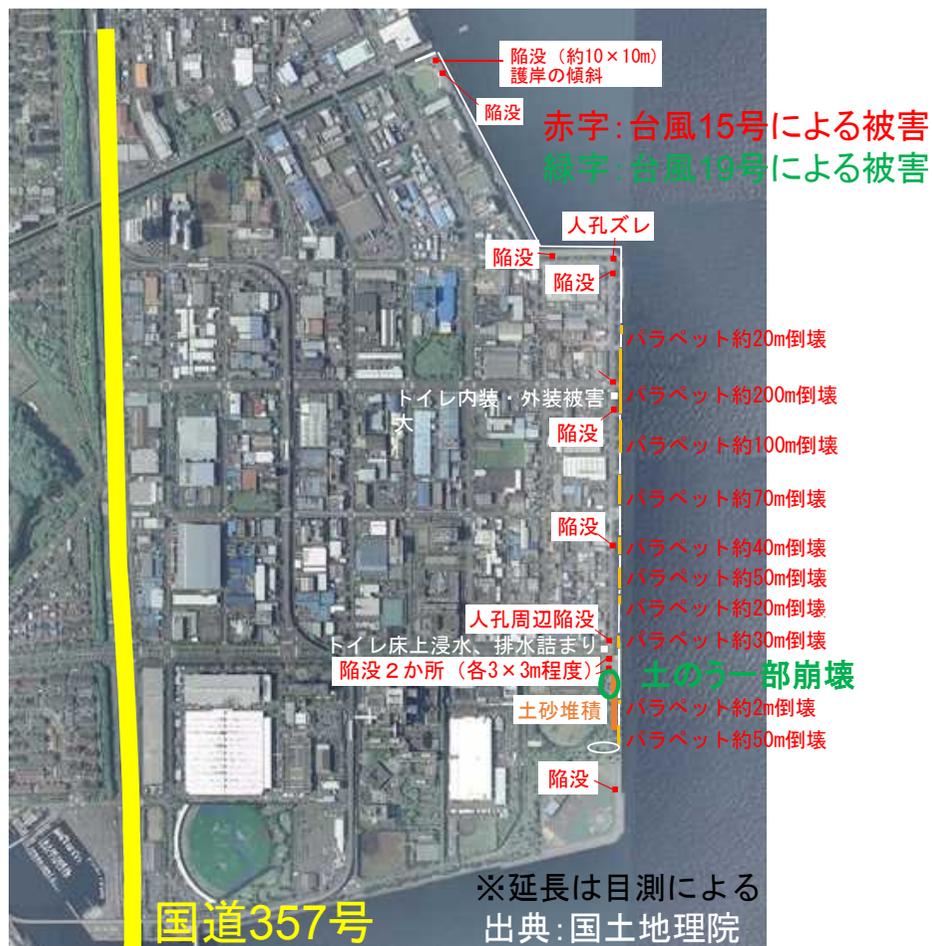
臨港道路 冠水状況



北部事務所 浸水状況

横浜港 金沢区(福浦地区) 被災状況

- ◆ 台風15号により、護岸が倒壊したため、土のう設置により応急復旧を実施。
- ◆ 台風19号により、設置した土のうが一部崩壊したものの、3列に配置していたことで浸水被害を防止。



護岸応急復旧状況 (9月19日撮影)



土のう(第1ライン)の一部崩壊 (10月13日撮影)

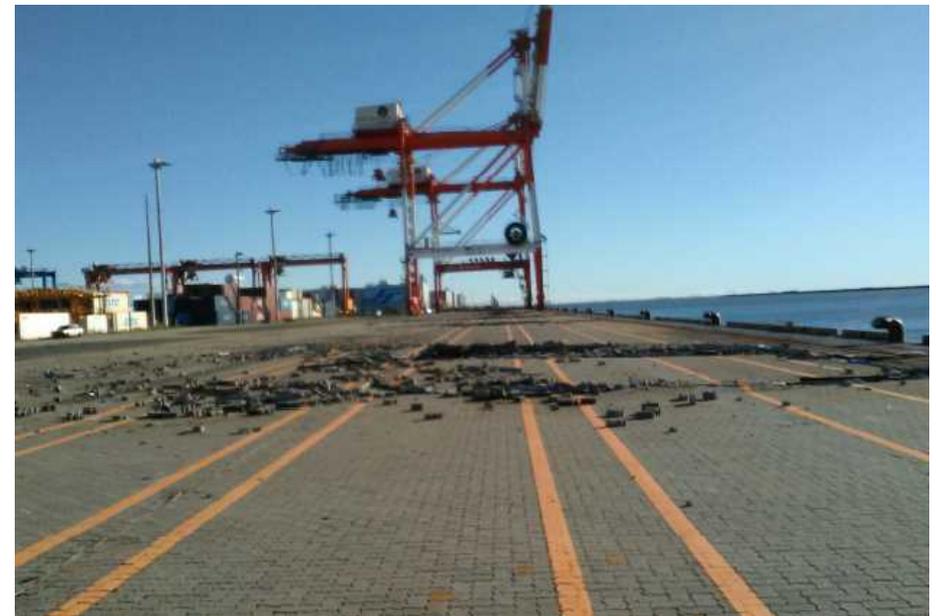


土のうを3列に配置し浸水被害を防止(10月12日撮影)



土のうによる3重防護のイメージ

◆ 揚圧力で棧橋の床版が破損。

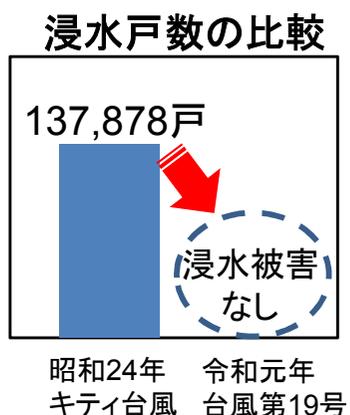
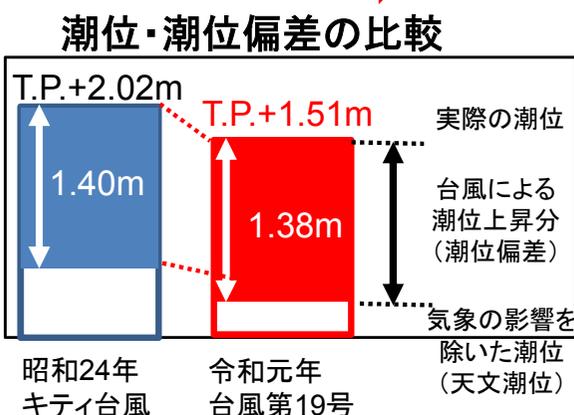
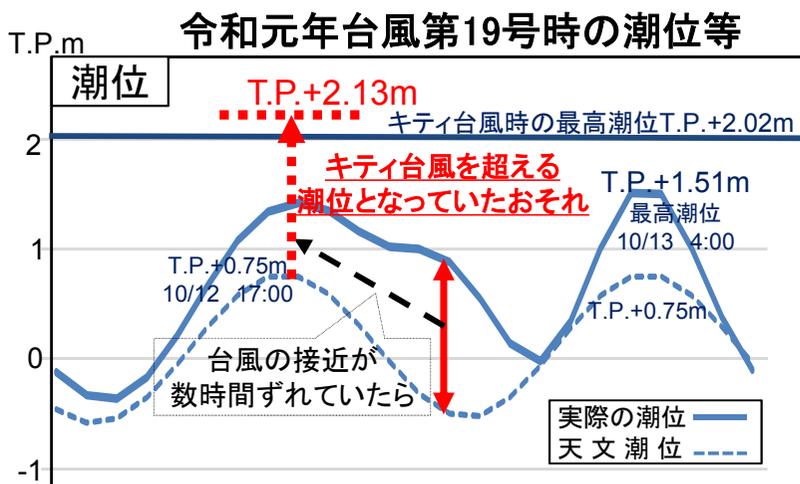


着実な高潮対策により、浸水被害を防止 — 東京湾の高潮 —

- ◆ 令和元年台風第19号で、東京では昭和24年のキティ台風に匹敵する潮位偏差を記録。
- ◆ キティ台風では約14万戸が浸水したが、その後の海岸・河川堤防、水門の整備や適切な管理・操作により、東京都中心部の高潮による浸水被害を防止。
- ◆ これら施設が整備されず、最悪のタイミングで台風が接近していれば、約60兆円以上の被害が発生すると推定。

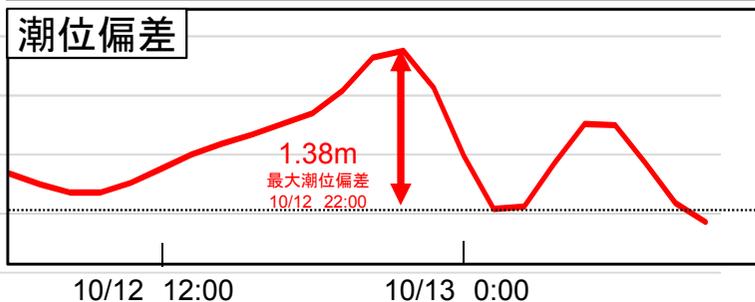
キティ台風時の高潮に匹敵する潮位偏差を記録

これまで進めてきた東京湾の高潮対策により、浸水被害を防止！

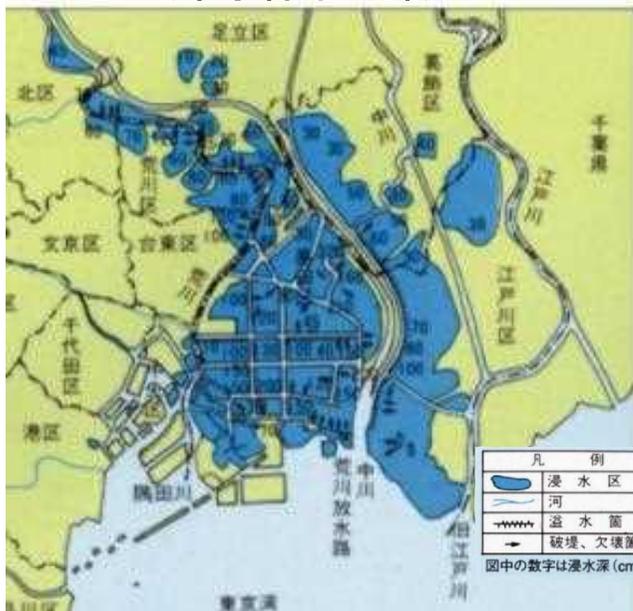


(参考値)
潮位T.P.+1.69m規模の高潮※が発生し、堤防や水門が無かった場合、以下の被害が発生すると想定：
被災人口： 約250万人
浸水面積： 約176km²
被害額： 約60兆円

※平成29年台風第21号による高潮



キティ台風時の浸水状況 (東京都中心部)



河川・海岸事業による高潮対策

- ・伊勢湾台風級の高潮にも対応できる河川堤防、防潮堤等を整備。
- ・東京都中心部を守る堤防の高さは概ね確保

